

あさがお  
金子みすゞ

青いあさがおがあっち向いて咲いた。  
白いあさがおがこっち向いて咲いた。

ひとつの蜂が、  
ふたつの花に。

ひとつのお日、  
ふたつの花に

青いあさがおがあっち向いてしぼむ。  
白いあさがおがこっち向いてしぼむ。

それでおしまい。  
はい、ナメクシなら。

6月に東小学校1年生がくれたあさがお。

それぞれの家庭で育て、子どもたちは花が咲いた…と嬉しそうに報告してくれました。写真を送ってくれた保護者もいます。

花開いた朝顔を見てみると、色は似ていてもみんな違う。あっちやこっちを向いてきれいに咲いています。花は自由に思い思いに咲き、どんなあさがおの花にも蜂やお日さまは丸ごと受け入れてくれています。

あさがおが子どもたちだったら…

あっちこっち向いた子どもたちを、おとなは丸ごと受け入れてあげることがとても大切ではないでしょうか。

いいことは受け入れるけれども、悪いことには耳を塞いでしまう…ということがあります。そして、なんとかそれをのがれようとする…

けれども、丸ごと受け入れるとは、いいことも悪いこともすべてを受け入れるということなのです。いいことも悪いこともその子であり、自分自身にもいえることです。丸ごとを受け入れ愛してあげる存在としてありたいと思います。



夏休み明け、年長ゆり組さんの男の子が、  
「小学校のお兄さんからもらったあさがおがまだ咲かないんだよ。咲かないって思うと悲しすぎるから「葉っぱがお」という種類をもらったと思うことにしたんだ～」と言っていたそうです。

9月4日(水)

別の男の子のお母さんからメールが届きました。

「東小学校の1年生からいただいたあさがおが今朝、咲いてくれました。遅咲きだったので大喜びです。」とニコニコの笑顔と朝顔の写真も一緒に送っていただきました。

その男の子「うちのあさがお、夏休みの間にもずっと咲かなかったから「あさがお」じゃなくて「おそがお」だと思わない？」笑いながら伝えてくれたそうです。

子どもの言葉 楽しいですね。素晴らしいですね。

一番初めに咲いた子は7月3日でした。そして、9月・・・2か月も違います。

花も実も、そして、人も、開花の時期はみんな違うのだと思わされます。

